外国語科　第６学年　「Let‘s think about our food.」

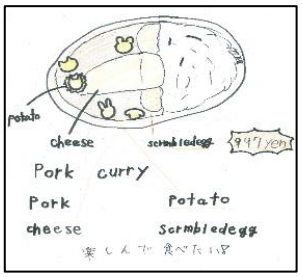
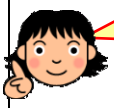
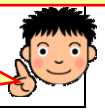
育成を目指す資質・能力　【課題発見・解決力】

《本時における学ぶ意欲が高まった児童の具体的な姿》
○用意しておいた質問例文を使って，グループで考えたカレーについて質問したり答えたりしている。

《本時における統合的な考え方》【集合】
○相手に伝わるようなよりよい発表に向けて，他のグループの発表を聞いて自分のグループとの共通点や相違点を考えさせる。

課題意識・相手意識の高まり

実生活や他教科への広がり

授業のながれ（全８時間　第７時）	児童の様子
○つかむ・見通す あいさつ，天気，曜日，日にちを ALT と確認する。単元で必要な表現が入った歌，チャンツを歌い，既習事項を確認する。【Small Talk】では，What did you eat for dinner?から ALT とのデモンストレーションの後，ペアになって行うことで本時の学習の見通しをもたせる。	実生活とのつながり ○歌には，朝食，昼食，夕食に何を食べたかを尋ね合う表現が繰り返し出てくる。何度も歌うことで，「こうやって英語で表現すればよい。」と気が付く児童の姿が見られた。
○学習課題 オリジナルカレーを伝え合おう。 ○考える・学び合う  【児童の考えたカレー】 【グループでの発表の様子】	思考のつながり ○既習の表現を使った【Small Talk】では，相手に配慮しながら目と目を合わせたり，笑顔で会話したりするなど，意欲的に話す姿が見られた。 みんなはどんなものを食べるのかな？英語でなんと言うのかな？ 相手に聞こえるように話すにはどうすればよいのかな？
○学び合う 前時までに各グループで考えたオリジナルカレーを相手に伝わるよう発表するために，気を付けておくこと(４つの視点)を押さえた。（Clear voice，Reaction，Smile，Eye contact） 発表するグループと聞くグループに分かれて発表をした。発表するグループには，どうやったら自分たちの考えたカレーを選んでもらえるかの工夫を考えさせた。聞くグループは，メモを取りながら聞くことで，聞く目的意識をもたせた。また，事前に用意した質問事項を使って，発表が深まるようにした。	○発表回数が増えると，相手の顔を見ながら自信をもって話せるようになり，ジェスチャーをしながら，笑顔で発表している児童が増えた。 ○聞く児童は，メモを取りながら聞いたり，既習の表現を使って質問したりしていた。 伝えたいことをはっきりさせて，相手の顔を見て言えた。  質問することで，相手の考えたカレーについてよく分かった。
○まとめ・振り返り カレーの材料や発表の４つの視点について等の観点をもとに，どのグループがよかったかを発表させた。また，今回の発表でがんばったことや次回チャレンジしたいことを書かせ，本時の発表を振り返らせた。	思考のつながり 何度も練習したので，相手を見ながら言えた。 次は，ジェスチャーを使って，分かりやすく発表したい。